

**「勝手にスナバキャンペーン」・「スナホ・ゲーム解放区宣言」など、  
 独創的な政策で多くの実績をあげた平井伸治鳥取県知事“初”の書籍**  
**『小さくても勝てる「砂丘の国」のポジティブ戦略』発売決定！**  
**2016年9月29日(木)中央公論新社より発売**

平井伸治鳥取県知事は、9月29日(木)に初となる書籍『小さくても勝てる 「砂丘の国」のポジティブ戦略』を中央公論新社より発売します。



『小さくても勝てる  
「砂丘の国」のポジティブ戦略』



2015年5月「勝手にスナバキャンペーン」の様子



2016年7月「スナホ・ゲーム解放区宣言」の様子

これまで鳥取県は、県の観光や特産物の知名度向上を目的としたプロジェクト「勝手にスナバキャンペーン」や、対象宿泊施設に宿泊された方を対象に、抽選で鳥取県産カニが当たる「蟹取県ウエルカニキャンペーン」など、様々な政策を実施してきました。なかでも、鳥取砂丘でスマートフォンゲームアプリ「ポケモンGO」のプレイを勧める「スナホ・ゲーム解放区宣言」が発表された7月25日以降、7月後半～8月後半の鳥取砂丘入込者数が181,318人となり、過去5年で最多を記録。2015年の同時期は148,257人だったため、前年比122.3%となりました。また、宣言直後の土日の入込者数は12,845人で、前年比137.9%を記録しています。

また、2009年～2014年度の合計移住者数は、4,344人で全国トップを獲得し、2016年2月に発売された宝島社『田舎暮らしの本』が発表する日本「住みたい田舎」ベストランキングでは総合ランキング1位に岩美町が輝くなど、移住への取り組みも積極的に行っています。

本書では、このような日本一人口が少ない鳥取県が「アイデア」と「逆転の発想」で大きな実績を上げた理由を語っています。日本を変えた地方再生の「原点」を探る一冊です。

<参考> 過去5年の7月後半～8月後半の鳥取砂丘入込者数の変遷

■2012年合計：158,796人、2013年合計：159,264人、2014年合計：133,257人

2015年合計：148,257人、2016年合計：181,318人 → **前年比 122.3%**

■スナホ・ゲーム解放区宣言後の土日の入込者数は12,845人。 → **前年比 137.9%**

■ここ数年入込者数は減少傾向であったが、2016年は同一期間で前年比122.3%、**過去5年間で最多**となった。

■7月25日の解放区宣言後、継続して前年を上回る(曜日での比較)。前年を下回ったのはオリンピック開幕後1週間のみ。

<『小さくても勝てる 「砂丘の国」のポジティブ戦略』書籍概要>

発売日：2016年9月29日(木) 本体価格：760円(税抜) 判型：新書版 発行元：中央公論新社

内容：鳥取砂丘のポケモンGOの開放区【話題を利用】／鬼太郎空港・コナン空港【マンガとコラボ】／ピンクのカレー・ピンクの蒸気機関車【斬新な発想】／森のようちえん・移住お試し住宅【地域を活用】／すなば珈琲【話題に便乗】

構成：第1章 話題を味方につける／第2章 人口を増やせ！／第3章 県庁改革と鳥取型民主主義／第4章 幸せは身近にあった／第5章 小さな県でも勝てます

<平井伸治鳥取県知事プロフィール>

1961年東京神田生まれ。東京大学法学部卒業。自治省(現総務省)に入省。2007年、鳥取県知事選挙に出馬し、初当選。現在3期。鳥取県のPRのため、恥を惜まずテレビ、ラジオなどマスコミに出演して話題沸騰中。

